

## 安全教育を実施しました

卒業研究に着手する新4年次生は、集中授業「化学安全衛生管理」を3月19日、4月2・3日の3日間にわたって受講しました。この授業では、研究室での実験事故を未然に防ぐために必要なことや化学物質の環境や人体へ影響やその防止策などを学びます。初日には、大阪市消防局・旭消防署員のご指導を仰ぎ、AEDの使い方や救急処置法を学びました。残念ながら、天候不順で消火訓練は中止となりましたので、教室内で消火器の種類、消火可能な距離（おおよそ2 - 4 m）、使用できる時間（10 - 30秒程度）について学び、消火の際には、逃げ道の確保の大切さについて教えて頂きました。

4月に入ってから授業2・3日目は、企業の第一線で安全管理の実務経験をお持ちの方から、研究や製造現場での事故災害防止について、みっちり学びました。

その後、毎年お約束の応用化学科教職員・大学院生・卒業研究着手者が一同に会しての大懇親会！これから1年間の安全と研究の成功を祈願して乾杯し、大いに語らって研究へのモチベーションを高めました。松田先生には、締めのお言葉をいただきお開きとなりました！



卒業研究着手前に徹底的に安全教育を行います



AEDによる救急処置法を学びました



応用化学科大懇親会@3F 食堂